

もみじ

—広島山岳・スポーツライミング連盟会報—



一般社団法人 広島山岳・スポーツライミング連盟

〒733-0011 広島市西区横川町 2 丁目 4-17

電話・FAX (082) 296-5597

E-Mail: hgakuren@lime.ocn.ne.jp

URL: <http://hiroshima-gakuren.or.jp>

郵便振替口座 01380-6-37958

題字デザイン 今村みずほ

編集 西部伸也

本号内容

1. 登山教室報告
2. 雲月山山焼き報告
3. 国体SC競技県選手選考会報告
4. 福山山岳会 100 周年記念行事報告
5. 定期総会報告
6. 江田島陀峯山新ルートの紹介
7. 岳連短信

1. 登山教室報告

第1回2年生 4/7(日)

登山形態: 日帰り山行

山城: 天応烏帽子岩山

人数: 10 名 (スタッフ含)

2019 年度登山教室の 2 年生は岩稜歩き・ロープワークの訓練で天応烏帽子岩山に行って来ました。天候に恵まれ、予定通りの訓練ができました。

(指導部長 森本 寛)

『2 年生 4 月の山行を終えて』

(2 年生 蔭田 由美子)

2 年生初の山行は昨年登山教室に入った時からやりたかった岩稜歩き訓練とロープワーク。机上講習などでやってきましたが、最初にラッペル(懸垂下降)する時は自分のやっていることが信用できなくて、更に思ったより高かったので緊張して頭が真っ白になる場面もありました。実際にやってみると思ったよりブレーキがかかっていたので体重のかけ方が足りず降りるのに時間がかかってしまいましたが、2 回目の 5m のラッペルは少し要領がわかって最初よりスムーズにできたと思います。烏帽子岩でのフィックスロープ

の通過は高度感があつて少しぞわっとしましたが、手元や足元、進んでいく方向に意識を集中させて何とか乗り切れました。冷静に作業できること、そしてまわりに注意が向くように普段から練習して実践ではスムーズにできるようにしたいと思います。

ラッペル講習の後のアイゼン尾根を烏帽子岩山山頂に移動する時やドンガメ岩から烏帽子岩への移動など歩くスピードが 1 年の時のそれと違ってかなりしんどかったものの、何とか頑張つてついていきました。もう少し脚力体力をつけなくては…。

最後に、今回記録係だったのを見逃していて最初のラッペル講習の途中で皆さまに教えていただいて気付きました。それにより机上講習での議事録を作成していなかったこと、途中まで写真が撮れていなかったこと、皆さまにご迷惑をおかけしてしまい申し訳ありませんでした。こんな私ではございますが、スタッフの皆さま、2 年生の皆さま、今年も 1 年よろしく願いいたします。



(写真提供 森本 寛)

第1回1年生 4/21(日)

登山形態: 日帰り山行

山城: 行者山～傘山

人数: 13 名 (スタッフ含)

2019年度登山教室の1年生は歩行技術と地図見の基本として行者山～傘山に行ってきました。天気は快晴で新入生と共に気持ちの良いスタートとなりました。

(指導部長 森本 寛)

『感想文』

(1 年生 吉部 恵理)

4/9 に 1 回目の机上講習を受けて、計画書や地形図をいつも以上に入念に見る。宿題の「段彩図」は最初さっぱりだったが、コツが掴めて来ると色塗り作業も楽しい。「断面図」「ベアリング表」も合わせると行程のイメージが湧いて来た。是非カシミールやジオグラフィカを使いこなして登山コースの作図が出来るようになりたいと思った。

さて迎えた当日の天気予報で雨の心配がないことに安堵。家事都合で 2 カ月ぶりに山行が出来る戸惑いと体力面大丈夫だろうか？という不安を持って参加した。最初はおしゃべりしながら軽快に歩いていたものの、傘山の反射板手前で不安が現実になってしまった。直射日光が当たる尾根の急坂でだんだん暑さに参り始め、順調に進んでいた一行にストップをかけてしまった。後半ゆっくりペースとなり錦竜の滝も展望地もなしになって申し訳ない。

促されてすぐ日陰に移動し、重ねていた汗だくの長袖シャツを脱ぎ、首筋を冷却、冷たい飲みもの・柑橘を頂く。迅速で的確な講師・スタッフ・先輩のサポートに感謝し感心した。スポーツドリンクのハイポトニック飲料とアイソトニック飲料の飲み分けを学んだ。今後は水だけでなくハイポトニック飲料も岩塩も持って行こう。ハイドレーションも使おう。

下山時、憩いの森へのコースは木々の中が涼しく心地よかった。数年前まで藪漕ぎで大変だったと聞くのが信じられないくらい整備の手が入っている。椿の赤い花があちこちこぼれて綺麗だった。川面にたくさん浮かんだ花筏が素敵だった。生活圏内近くにも関わらず行く機会がなかった行者山・傘山は登り堪え充分な里山だったので、気候のよい時季にまた歩いてみたい。

川沿いの広場で道具の説明、先輩方も含めシートを広げて大型ザックの中身を見せて頂く。分かりやすい説明に興味津々で、これから買い足すべきものがよく分かった。ツェルト張りの実践時、紐が凍ってもほど

け易いように、雨が入らないようにというポイントが印象に残った。

1 回目から情けない感想になってしまったが、テーマ「地形図を広げコンパスを合わすこと」は自信がついてきたし、「歩き方のコツ」「道具の説明」もしっかり聞けたし、「熱中症ヒヤリ体験」は今後の山行に活かしたい。一年後は道具を広げて説明する側になっていたらいいなと思う。二年生の方々を目標に失敗も糧にして頑張ります。宜しく願いいたします。



(写真提供 松本 正和)

2. 雲月山山焼き報告

理事の福永やす子さんからの寄稿と写真提供です。

『雲月山山焼き支援ボランティアに参加して』

雨等で三年越しの雲月山山焼きが 4 月 13 日行われた。久しぶりの山焼きなので、比婆山スカイランの登山道整備があつたが、東広島山の会 4 名と県庁山の会 2 名が申し込みを各自で行い当日を迎えた。前日、2 名の不参加で東広島山の会も 2 名になったが、戸河内 IC そばで県庁山の会 2 名と合流して現地に向かった。

9 時迄に事前に郵送された説明と班名簿をもとに受付で 500 円を払ってゼッケンを付け班ごとに整列する。

以前は自然保護研修会で北広島町西中国山地の講師の方をお願いしていた関係で参加者も 50 名近くいたが、今回山岳関係は 10 名に満たなかった。

山焼きをする事で雲月山の景観と生態系を守る事や火の怖さを実感しながら多くの方と交流を図るのが目的と聞き山焼きに何度か参加していると、生物多様性を具現する動植物が生息繁茂し、現実に島根県と

の比較が観察出来る唯一の場所と思い、報告します。

今回は7か所の集落(土橋・奥原・草安・荻谷形・才乙・大利原・南門原)に分かれてボランティアが加わり、地元の方の草刈り機で5mの防火帯を作り、ボランティアがレーキで寄せて午前中の作業は終了。地元の方のご支援で炊き込みご飯とうどんが無料で振る舞われた。

午後から消防団も加わって地元と有志で15kgの水を背負い、一般参加者は杉の枝を持って消化出来る態勢で班ごとに配置につき、上部から火入れを行った。ある程度下方に焼け広がると一面黒く灰化して行き下方からの火入れが進むと忽ち上層へと焼けて行き全面が真っ黒くなった。黒い山肌は雨が降れば茶色に変化し、ショウジョウバカマが花開き、6月には山百合も咲くと紹介があり、その後の植物観察のお話もあった。

賛同された多くの方や遠く長崎からの参加もあり広まりつつある活動だった。自然保護活動、生物多様性の勉強の場所として多くの方に参加して戴きたいと思います。

植物観察の詳細は、西中国山地自然史研究会のホームページ(<http://npo.shizenkan.info/>)を参照してください。



山焼きの様子と山焼き後の雲月山

3. 国体S C競技県選手選考会報告

4月28日(日)、国体スポーツクライミング競技(*)の広島県選手選考会 兼 強化・育成選手選考会が安芸郡府中町クライムセンターCEROで開催されました。他県(島根・岡山)からのオープン参加の選手も含め、各カテゴリー(種別)・男女合わせて33名が熱戦を繰り広げました。とりわけ少年男子では高校1年・中学3年の若い力が台頭し、頼もしく思いました。

(*) 従来の「山岳競技」が今年から名称変更

選考会運営スタッフの皆様、ご苦勞様でした。また、会場を提供いただいたCERO様、ご協力ありがとうございました。

県内選手の成績(1~3位)は以下の通りです。

ユース女子 ①佐々木詩華(中1)

ユース男子 ①香川葉津(中1) ①大下賢実(中2)

③末廣佳大(中2)

少年女子 ①岡崎遥(高3) ②大藪杏理奈(中3)

③石井杏奈(高1)

少年男子 ①延近陸斗(高1) ②田坂桔平(中3)

③千原悠(高3)

成年女子 ①錦織美里 ②山口真央 ②山下真由

成年男子 ①中峠勝貴 ②錦織瀬奈 ②斎藤孔明

少年男女・成年女子の1位・2位選手は中国ブロック大会(6/22・23 島根県松江市)の選手候補となりますが、ブロック大会での健闘を祈ります。



リードおよびボルダリングの競技の様子



各カテゴリーの入賞者 (左上：ユース男女、中段：少年女子・少年男子、下段：成年女子・成年男子。県外選手を含む)

4. 福山山岳会 100 周年記念行事報告

4 月 29 日(月・祝)～30 日(火・祝)、広島県山岳・スポーツクライミング連盟の中で最も歴史ある福山山岳会の創立 100 周年記念行事が福山市山野町で行われ、連盟からも山田会長を始め 8 名が出席しました。

初日は福山市立山野中学校体育館で記念式典が行われ、夜は地元の公民館に移動して懇親会が持たれました。また翌日は、大田会長の営む『ゆうすけ山荘』で朝食の後、2 班に分かれて登山(馬乗観音・岩穴宮)あるいは自然観察(山野峡)を行いました。

式典に前後しては美しい山の映像や福山山岳会の歴史を感じさせる映像が流れたり、また、式典後には『二人の桃源郷』という記録映画の上映があったりと、心に染み入る内容でした。

自然観察会については、参加者の報告があります。

『福山山岳会創立 100 周年記念登山自然観察会(赤松、木村担当)に参加して』(福永やす子)

100 周年創立記念行事が盛大に行われ、交流会も続いて大変な行事にも関わらず、翌朝は、薪釜で炊いたご飯に令法(リョウブ)のおむすびやテーブルに溢れんばかりの料理と味噌汁の朝食という心のこもったお世話係の接待。令法は昔、飢餓に備えて食糧に混

ぜて食べる様に法で定めた植物とか。木肌は百日紅に似ていて夏に白い花を咲かせるリョウブの新芽を塩漬し使用するとの事。

一晩中降った雨も上がり記念登山と観察会には多くの方が参加。野草の名前の資料を戴き、新年号の令和にちなんで令法(リョウブ)、和蘭耳菜草(オランダミナグサ)の植物を大きな紙にアレンジして令和の説明があった。出発前には子供達が後部荷台に乗って現れて参加者も多くなり、その子供達に赤松さんがチョコチャン風に質問するなど、楽しい観察会だった。お昼はキャンプ場で柏餅やリョウブのおむすび、黒文字茶を戴きトンネルを少し進み引き返した。

最後に赤松さんの奥さんが鬼女蘭を見つけてアサギマダラの説明をしながら葉の裏につくサナギの話をして裏返すと、なんと緑のサナギがついているではないか！彼女も周りの皆も、平成最後の日に初めて出遭ったアサギマダラのサナギに大興奮！！純粋な皆さんの姿を見させてもらった。

私もこの場にい合わせたことを一生忘れる事はないでしょう。本当にありがとうございました。



記念式典来賓・当連盟からの出席者



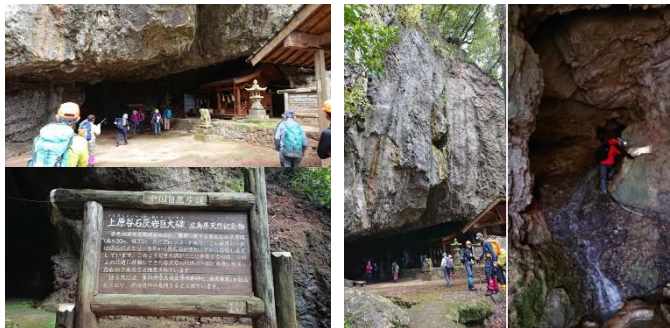
記念式典全出席者(福山山岳会・江種さん撮影)



懇親会



記念登山 馬乗観音にて(福山山岳会・綿谷さんより)



岩穴宮



自然観察会(アサギマダラの蛹と令法・和蘭耳菜草。福永さん撮影)

3. 令和元年度事業計画

4. 令和元年度予算案

5. 役員改選

出席者 加盟団体 12、個人会員 2

委任状提出 加盟団体 13、個人会員 5

議決個数 248 中、231 の出席・委任状で総会は成立。

司会：西部(事務局長) 議長：山田(会長)

資料 1号議案 H30 事業報告 事務局 2 頁・指導部 2 頁・普及部 1 頁・競技部 1 頁・国際部&県東部 1 頁・高体連部 1 頁の計 8 頁 2号議案 H30 決算監査報告 財産目録 1 頁・収支計算総括表&監査報告 1 頁の計 2 頁 3号議案 R 元事業計画(方針) 1 頁・具体的な事業計画表(A3) 1 枚 4号議案 R 元予算案 1 頁 5号議案役員改選 名誉役員 監事 理事名簿 1 頁・組織図 1 頁 1~5号議案合計 14 頁+(A3) 1 枚 他に総会出欠委任状名簿 1 頁

協議の主な内容

2020 東京オリンピックを控えた日本山岳・スポーツクライミング協会(JMSCA・ジムスカ)の今年度事業方針に当連盟の事業方針も則り、次の4つの活動方針が承認された。①スポーツクライミングの強化・PR に努める ②県民ハイキングの実施を通して加盟団体の活性化・一般登山愛好者への安全登山の指導普及を図る ③安定した財政基盤を目指す ④山岳遭難を減らす対策に取り組み、山岳共済への加入促進に努める。また、写真展を開催する

厳しい財務状況ではあるが、赤字0を目標とする今年度予算案も承認された。

総会終了後は今年創設された表彰式。そして懇親会ももたれ、19 名が出席。全員の2分間スピーチなど、有意義な会となった。



会場正面に掲げられた連盟旗

5. 定期総会報告

日時：5月11日(土) 15:00~16:00

場所：ホテルチューリッヒ東方2001

議題：1. 平成30年度事業報告

2. 平成30年度決算報告・監査報告



総会の様子と、退任理事・新理事・新副会長の挨拶



岡谷さんへの表彰状「山は命をかけてまで登らんでもええーをモットーに 50 有余年見事生き残られています…」



懇親会と全員スピーチ

『もみじ』前号で紹介した新理事候補者は全員承認されました。前期からの継続を除く新理事と新副会長を紹介します。

新理事：森本覚、岩城正人、三村孝治、近藤道明、
西川省吾、内藤弘泰

新副会長：村井仁、後藤裕司

6. 江田島陀峯山新ルートの紹介

(顧問 岡谷 良信)

江田島の陀峯山はご承知の方もいらっしゃると思いますが、現状は林道を登るルートが一般的に紹介されているのではないのでしょうか。

今回紹介させていただきますルートは、海岸から瀬戸内海を眼下に岩稜歩きを楽しみながら、バリエーション登山の感覚とシステムを身につけて頂くのに最適なルートとなるとの思いで、現在整備をいたしている処です。

尾根沿いには「羅漢石」がある。寿永4年(834年前の1185年)屋久島の戦いに敗れた平宗盛を棟梁とする平家の軍勢が安徳天皇(8歳)と三種の神器を奉じ、100艘余りの船で平家の拠点彦島(山口県下関)を目指して瀬戸内海を西下する途上で大君の地(当時「大美」又は「多海」呼ばれていた地)に来航し、平家一族は3月18日春爛漫の大君や対岸の藤の脇の春を楽しみ、船旅の疲れをいやした。しかし、迫る源氏を背後に感じ、宗盛は彦島を拠点とする平知盛と合流すべく瀬戸内を西下した。安徳天皇が3月24日壇ノ浦において崩御され、悲哀を知った大君の住民が、山中にある一列に並ぶ巨岩が海に向かって見ると壇ノ浦に沈む平家一族のように見えることから羅漢石と名付けた、という伝説の尾根である。

呉の第二音戸大橋を通り、早瀬大橋を渡って下る。直進しないですぐに右折すると早瀬大橋の下を抜ける。1.5km位でビーチ長浜の海水浴場に出る。その先に木造船の造船所がある。手前の道路脇が広いので駐車は可能だ。

登山口は余り目立たないように刈込は控えている。奥まった地形の中に進むと右側に稜線に直登する踏み跡があり、3分~5分で尾根に出る。刈込を進むと前方に岩峰が目に入る。この岩はヒヨコ饅頭に似てい

ることから「ヒヨコ岩」の名称を検討中だ。その他にも「ラクダのコブ」「カイコ岩」「ハート岩」「鬼の足跡」の候補があり、上部の岩は「ろくろ岩」の名称を検討中だ。まずはヒヨコ岩の右側を巻きながら「ろくろ岩」を目指して登る。(所々岩峰上部に登れる箇所を整備している。但し花崗岩がもろいので注意が必要。) 下部岩稜を抜けると花崗岩の広い平らな尾根になり、前方の岩稜帯を自分のレベルに合わせてルートを取ったりルートを見たりする能力がつくだろう。

「ろくろ岩」から 100m 位右側の位置に一般者も登れるルートがある。そこを登り、左にトラバースすると「ろくろ岩」の上部に出る(瀬戸内の最高の展望だ)。ここから林道までは一般道だ。林道に出ないで谷と林道の間の狭い岩稜帯を進むと少し緊張感がある。右下に林道を見ながら尾根沿いに登り、木と岩稜帯を抜けると登山道と合流する。合流点を左に下ると 2 本の尾根になる。左の尾根は一部ラッペル(懸垂下降)が必要な箇所があるので省略する。

右側尾根を下山コースにすることを現状では推薦する。稜線上を正確に辿ること。(谷側にコースを取ると危険がいつばいあることを承知のこと)。岩稜帯と尾根を確認して鉄塔を目標に下山し、鉄塔から左手にメンテナンス用の道を降りると終了となる。10 分位で登山口に着くだろう。

(整備と紹介の目的)

現在、登山の風潮の変化が著しい。技術不足でもバリエーションルートには興味があるが登攀のシステムが理解出来てない方、三倉岳や天応では難しい過ぎてシステムを理解する余裕がない方、そんな方の為に一日ロープワークの出来るルートとして整備しています。雪山のアイゼンのトレーニングにも最適です。自分の判断能力も鍛えられると思っています。我々のグレンデとして登山して下されば幸いです。しばらくは岩稜帯ルートを整備いたしている処ですので協力下さい。

(次ページに陀峯山概念図を掲載)

7. 岳連短信

1. 寄贈御礼

三原山の会『筆影』No. 470 (5 月号)

福山山岳会『会報』R 元. 5 月号

2. 5~6 月の行事案内

(集合時間・場所等の詳細は当連盟ホームページの「岳連カレンダー」のページを開き各行事をクリックすると確認できます)

5/25~26 第 27 回比婆山国際スカイラン直前準備・登山フェスティバル・本番

6/1 比婆山スカイラン後片付け

6/1~2 県高校総体登山競技(県民の森 竜王山・比婆山一帯)

6/2 ひろしま「山の日」県民の集い(竹原市ほか)

6/9 県民ハイキング(恐羅漢山)

6/21 タ~23 国体 S C 競技中国ブロック大会(島根県松江市 旧千酌小学校体育館・M-ウォール)

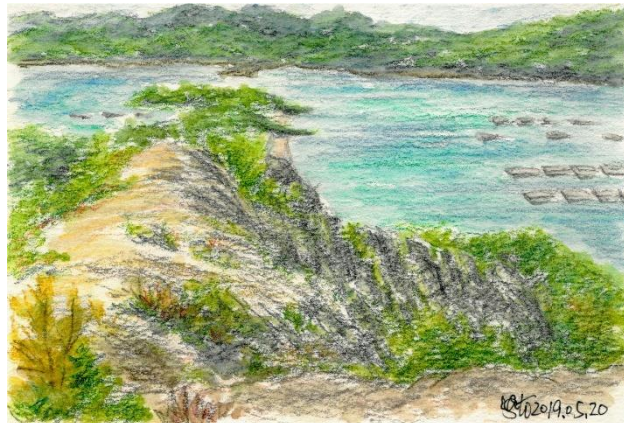
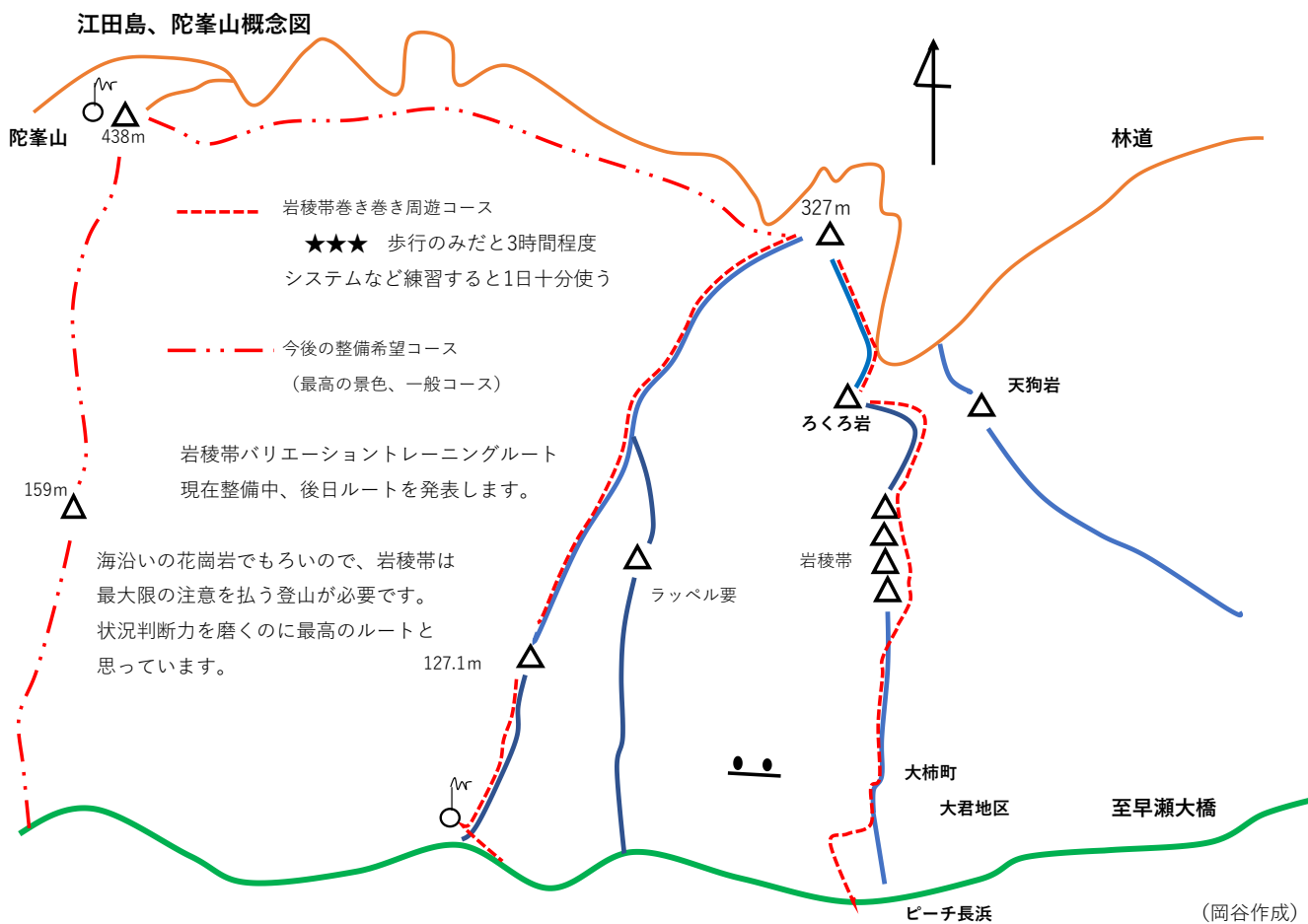
6/29~30 無雪期レスキュー研修会(「山のファーストエイド研修会」三次市 ほしはら山のがっこう)
参加申込は 6/1~6/16 詳細はホームページを参照

編集部より

○この会報は、皆さんの提出原稿を編集して発行しています。岳連行事・山の情報・行事参加の感想など気軽にお寄せください。寄稿の場合は所属、役職を記入下さい。編集の都合で一部手直しすることがあります。ご了承ください。

○会員団体で会報発行されたら岳連事務局まで恵送下さい。随時紹介します。

○この会報はメール配信しています。配信ご希望の方は岳連事務局までメールアドレスをお知らせ下さい。



陀峯山羅漢岩尾根スケッチ (指導部長 森本 寛)



フォト俳句 (福山山岳会 江種 幸男)